

(3)-4 スマート愛ランド推進計画（関西国際空港環境推進計画）の概要

関西国際空港は、人と地球にやさしい「環境先進空港」を目指し、**3**つの基本理念のもと、**5**つの基本方針を掲げた「スマート愛ランド推進計画」を策定し、先進的な環境施策に取り組んでいく。

この「スマート愛ランド推進計画」は、従来の「エコ愛ランド推進計画」にグリーンイノベーションを融合させて、**2013**年**4**月に第**3**次環境計画として策定した。

I. 基本理念

1. グリーンイノベーション

関西国際空港は、**2013**年**2**月に「グリーンイノベーション」として、再生可能エネルギー等を活用したスマートコミュニティのビジネスモデルを構築する区域に認定された。燃料電池自動車の市場導入や水素燃料利用社会の到来を見据え、世界に先駆けた大規模な水素インフラ実証実験を行い、太陽光発電を含むクリーンエネルギーによる創エネを推進するとともに、インフラ技術をパッケージ化することで、環境技術の海外展開を図り、グローバル化に向けた取組を進める。

2. エコオペレーション

太陽光発電や水素燃料の利用等の新技術の導入とともに、空港内施設等における省エネに係わる「見える化」を推進することで、**IT**技術を駆使しエネルギーを効率よく利用し、空港の運用におけるエネルギー使用量の削減に向けた取組を推進する。

長期的に空港関連事業者を含めて、空港全体における効率的なエネルギー利用に取り組んでいく。

3. エコリレーション

地域に愛され、親しまれる空港の実現のため、周辺地域との対話を緊密に行うとともに、今後も騒音の低減、**CO₂**排出量の削減、水質保全等、環境負荷の小さい空港として、更なる環境負荷の低減に努める。

また、緑地や内水面を活用した憩いの場所の提供に努める。

II. 基本方針

基本理念に基づき、環境と共生する21世紀型空港として、公害のない空港を目指す取組を継続する。

さらに、アジアのリーディングエアポートとなるべく「太陽光」「風力」「水素燃料」等でエネルギーを生み出す「創エネ」の取組や、**IT**（情報技術）を駆使し、空港島全域のエネルギー効率を高める「省エネ」の取組により、スマート愛ランドを実現する。

また、地球環境と地域社会との調和を図る「環境先進空港」としての世界的な空港経営モデルを構築する。

1. 快適な地域環境を守る空港【地域環境】

関西国際空港では、引き続き航空機騒音に関わる環境基準を遵守するとともに、より一層の騒音の低減に努める。

また、大気質、水質については、排出ガス、排水に関する法令遵守はもとより、空港からの負荷を可能な限り低減する観点から、更に高い自主管理目標を設定するなど、環境保全に努めていく。

2. 地球環境への負荷の少ない空港【地球環境】

関西国際空港では、関係事業者と協力し、事業活動に伴う温室効果ガスを率先して削減する。

さらに太陽光発電などの自然エネルギーや水素利用によるクリーンエネルギーの導入を促進する。

3. 資源循環型の空港【資源循環】

廃棄物の減量化を働きかけるとともに、発生した廃棄物は有効利用する資源循環型の空港を目指した取組を引き続き進めていく。更に、中水利用の促進や上水使用量の抑制など、水資源の有効利用に配慮した水循環システムの確保に努める。

4. 生物多様性に配慮した空港【生物多様性】

空港島周辺護岸に藻場を形成し、多様な生物が生息する藻場の維持に努める。また、空港内の緑地を拡大し、空港利用者が憩いと安らぎを感じる良好な空間整備を進める。

5. 地域と共生した空港【共生】

地域の人々や利用者との対話に努め、環境監視結果や環境活動を国内外の利用者に向け発信し、空港活動の理解を深めて頂くよう多様な機会を提供する。

III. 主要施策

1. 快適な地域環境を守る空港

取組項目	活動項目	目標等
航空機騒音	<ul style="list-style-type: none"> 航空機騒音の低減、低騒音型航空機の導入 飛行経路遵守の徹底 滑走路の運用方法の検討及び関係機関への要望 	環境基準達成率 100% を維持
大気質保全	<ul style="list-style-type: none"> 大気汚染物質排出量の少ない航空機の導入促進 	適宜働きかけ
	<ul style="list-style-type: none"> クリーンセンターの排ガス対策 ジェット燃料運搬タンカーの燃料良質化 	窒素酸化物の自主管理値 70ppm 以下 (総量規制基準値 187ppm) A 重油以上の良質油使用率 100%
水質保全	<ul style="list-style-type: none"> 浄化センターからの放流水による負荷の軽減 	COD 放流水質を日平均 12mg/l 以下 COD 日負荷量を 30kg/日 を超えない

2. 地球環境への負荷の少ない空港

取組項目	活動項目	目標等
省エネルギー対策	<ul style="list-style-type: none"> 省エネ設備の導入 省エネ運用の推進 	建物施設及び航空灯火をすべて LED 化 空港運営会社が管理するエネルギー消費原単位について各年度毎に過去 5 年間平均の 1% 削減
温室効果ガス排出量の削減	<ul style="list-style-type: none"> 低燃費航空機の導入促進 タキシングルート of 効率化 	航空機からの温室効果ガス排出量(航空機発着回数当たりの量)を 2011 年度比 5% 削減
	<ul style="list-style-type: none"> APU の使用抑制 駐機スポットに GPU を完備 	APU の使用率 10% 以下 GPU 普及率 100%

	・ アイドリングストップ等の徹底	適宜働きかけ
	・ 公共交通機関の利用促進	適宜働きかけ
	・ 空港施設からの温室効果ガスの削減	空港施設等（航空機を除く）からの温室効果ガス排出量（航空機発着回数当たりの量）を 2011年度比 5%削減
エコカーの導入促進	・ 業務用車両について更新時にエコカーの導入	エコカー導入率 100%
	・ 島内事業用車にエコカー導入の呼びかけ	エコカー導入率 80%
	・ 水素ステーションを利用した、水素燃料電池自動車の実証実験を推進	適宜実施する
	・ トラック、旅客バスの低公害化（CNG車）の普及促進	関係機関と協力して実施する
クリーンエネルギーの拡大	・ 水素ステーションの拡大	適宜実施
	・ CNG スタンドの設置	適宜働きかけ
	・ EV車の充電スタンドの設置	適宜実施
	・ 太陽光発電事業の実施	島内使用電力の 10% 相当を創エネ
・ クリーンエネルギーの利用		

3. 資源循環型の空港

取組項目	活動項目	目標等
ゼロエミッションの実現	・ 一般廃棄物の減量化及び再資源化	一般廃棄物リサイクル率 13%
	・ オフィスの紙使用量の削減	80% 削減
	・ 産業廃棄物の減量化及び再資源化	島内事業者に要請する
	・ 建設副産物の有効利用	土砂のリサイクル率 100%
節水・水循環	・ グリーン購入	100% を目標とする
	・ 節水対策の推進	上水使用量（航空機発着回数当たりの量）を 2011年度比 5%削減
	・ 中水利用	中水利用率（排水リサイクル率） 55%

4. 生物多様性に配慮した空港

取組項目	活動項目	目標等
自然環境	・ 藻場・海浜植物の保護育成	2010年度（47ha）より 20%拡大
	・ 空港島内の緑化	空港内の緑地の 20%拡大
景観	・ 空港島内の景観保全	継続して実施
	・ 憩いと安らぎ空間の創造	継続して実施

5. 地域と共生した空港

取組項目	活動項目	目標等
情報公開	・ 環境監視データの公開	監視データの随時公開 年次環境報告書の作成
地域社会との対話	・ 環境情報の発信	ホームページ、報告書、パンフレットの作成
	・ 環境学習等の提供	継続して実施
空港関連事業者との連携	・ スマート愛ランド推進協議会の運営	継続して実施
	・ 国内外空港との連携	継続して実施

IV. 推進体制

空港運営会社は、「環境推進委員会」において計画の推進、管理（見直しと改善）を行うとともに、「スマート愛ランド推進協議会」の空港内事業者等と協力した取組を推進する。また、「省エネルギー委員会」とも情報共有を図る。

